

出席者（敬称略）：田中美壽（委員長）、佐々木友明、勝見真喜子、大沼久、平浩一郎、平みわ、鈴木道子
倉持館長、山口副館長、高橋
土屋教育長、小関参事、佐藤課長、吉川室長、四釜主事、玉橋係長、深瀬主事

1 開会

2 委員長あいさつ

3 教育長あいさつ

4 協議

（1）令和2年度事業報告について

図書館から説明。

（委員）

- ・団体貸出はどんな団体に貸出を行っているのか。

⇒（図書館回答）

民間学童や老人施設、図書館ボランティアなど。4月・5月に臨時閉館した際、代替として団体に貸出のチラシを配布した。学校への貸出は「学級文庫定期便」に計上しているので、団体貸出には含まれていない。

（委員）

- ・いなほ号の代替で各クラスに2箱貸出をいただいた。大変良かったので、ぜひ継続してほしい。いなほ号の消毒が大変ということだが、今後の運行はどうなるのか。
- ・学校では教科書に掲載されている図書を用意しきれないので、ありがたい。
- ・おけさ堀探検隊の音源はあるか。

⇒（図書館回答）

本の消毒をずっとやらなくてはならないかは、教育委員会の指導次第。おけさ堀探検隊は今もYouTube等で配信しており、BGMや効果音付きで聞くことができる。

（委員）

- ・学級文庫定期便の選書はどのように行っているか。

⇒（図書館回答）

先生からどういった本が良いか、テーマ等の希望を聞いて対応している。

（委員）

- ・長い期間で見るとサービス向上や利用者満足度の向上に努めていただいていると感じる。
- ・新図書館に期待しており、数十億円かけるわけなので、中身の伴った図書館にしてほしい。
- ・年代別貸出で見ると、小学生と60代以上が多い。小学校は移動図書館等も入るので、来館者と考えたらほとんど60代以上の高齢者だと思う。学校の行事や授業で図書館に来館する機会を作り、図書館を身近に感じるようにすると、親子で図書館に足を運ぶようになり、市民にとって図書館の重要度が高くなるのではないか。

⇒ (教育委員会回答)

本来は学校図書館が子どもに本を身近に感じさせる場所だが、中学校等なかなかそうできていない。新図書館は遊びと学び、交流がテーマ。個人としては、学校での図書館利用を促していきたいと思う。

(委員)

- ・人を成長させるものは「人との関わり」「読書」「旅」の3つだという。旅を本との冒険と捉えれば、新図書館はそういう意味合いを持つ図書館にしていけると良い。長井の心10の子ども像にも「読書を好きな子ども」とあるので、そうなっていったら良いと思う。

(委員)

- ・非来館型サービスであっても、来館しないと「使ってみよう」とならない。まずは図書館に足を運んでもらうことが必要だと思う。子どもは学校行事やPTAの行事で機会が作れるのではないかな。

(委員)

- ・コロナでも動きを止めずに、できることを探るという図書館の姿勢はすばらしいと思う。学校図書館の蔵書で教科書に掲載されている本のコーナーを作ろうと思っても難しいため、図書館の取り組みはありがたい。

(2) 令和3年度事業計画について

教育委員会、図書館から説明。

(委員)

- ・図書選定の公平性について、「指定管理者が図書を選定し、教育委員会文化生涯学習課及び図書館協議会で決定すること」とある。昨年度は図書館協議会が入っていなかったようだが。

⇒ (教育委員会・図書館回答)

令和元年度から追加した。以前は図書選定委員会がその役割を担っていたが、予算の都合で委員会が廃止され、図書館協議会が役割を引き継ぐことになった。記載が変わったのはそのためである。

(委員)

- ・街なか図書館について、図書館本館内の消毒だけでも大変な中でどう対応していくのか。

⇒ (図書館回答)

街なか図書館は、以前は長井駅と小桜館に設置していた。長井駅については、新しい駅になったらどうするとは決まっていない。小桜館については、コロナで施設自体の利用が減っていると聞いている。バーコードのついていない本を誰でも手に取れるという形で提供しているため、本館に比べて図書館の手は入りにくく、難しいところではある。

(委員)

- ・アンケートはいつ行うのか。予算はどこでとっているのか。
- ・質問の内容作成や集計など、市のアンケートだとコンサルが入る場合があるが、どのように実施するのか。
- ・現図書館の利用者アンケートなどはあるのか。

⇒ (図書館回答)

アンケートは来年度中に行う。予算は指定管理料の中で捻出することで決まっているが、予算が多くないので、外注はしない。他図書館のアンケート等を参考にして、自前でできる範囲の数のアンケートを行う。利用者の声として自由記述式のアンケートはあるが、書く人はほとんどいない。

(委員)

- ・コロナで高齢者施設の面会が限られている。高齢者向けに写真の多い本などを選定してもらくと、いい刺激になると思うので、施設に団体貸出のサービスの働きかけをしてほしい。

⇒ (図書館回答)

施設から要望があれば対応可能。

5 報告

(1) 組織機構改編に伴う図書館の所管について

教育委員会から説明。

(委員)

- ・組織図の中でどこまでが市長部局か。公共複合施設はどこで担当するのか。

⇒ (教育委員会回答)

大まかに分けると、総務部門から建設部門までが市長部局。公共複合施設をどこで担当するかは決まっていない。

(委員)

- ・横の連携をとれるようにしてほしい。市を挙げて施策に取り組むというのが大事ではないか。施策を意味のあるものにしていくためには、広がりを持って進めていく必要があると思う。

(2) 公共複合施設整備の進捗について

総合政策課から説明。